

経済学科授業科目表

学則別表Ⅱ－1 経済学科

群	部門	授業科目	単位	必修	選択必修	選択
学部基礎科目		クラスセミナー	2	2		
		経済学（ミクロ）	2	2		
		経済学（マクロ）	2	2		
		経営学 a	2	2		
		経営学 b	2	2		
		経済経営数学入門	2	2		
		統計学入門	2	2		
学科基礎科目		ミクロ経済学 a	2	2		
		ミクロ経済学 b	2	2		
		マクロ経済学 a	2	2		
		マクロ経済学 b	2	2		
		経済経営数学 a	2			
		経済経営数学 b	2			
		統計学 a	2			
		統計学 b	2			
		経営学原理 a	2			
		経営学原理 b	2			
		会計学 a	2			
		会計学 b	2			
		簿記原理 a	2			
		簿記原理 b	2			
		コンピュータ入門 a	2			
		コンピュータ入門 b	2			
		情報社会論 a	2			
		情報社会論 b	2			
		環境学	2			
		サステナビリティ学	2			
学科専門科目	専門外国語	専門英語 a	2			
		専門英語 b	2			
		専門中国語 a	2			
		専門中国語 b	2			
	理論・計量	上級ミクロ経済学 a	2			
		上級ミクロ経済学 b	2			
		上級マクロ経済学 a	2			
		上級マクロ経済学 b	2			
		ゲーム理論 a	2			
		ゲーム理論 b	2			
		経済学史 a	2			
		経済学史 b	2			
		経済統計論 a	2			
		経済統計論 b	2			
		計量経済学 a	2			
		計量経済学 b	2			
	歴史	多変量解析 a	2			
		多変量解析 b	2			
		日本史概論	2			
		東洋史概論	2			
		西洋史概論	2			
		日本社会史 a	2			
		日本社会史 b	2			
		日本経済史 a	2			
	経済政策・応用経済	日本経済史 b	2			
		外国経済史 a	2			
		外国経済史 b	2			
		社会経済史 a	2			
		社会経済史 b	2			
		日本経済論 a	2			
		日本経済論 b	2			
		経済政策論 a	2			
		経済政策論 b	2			
		公共経済学 a	2			
		公共経済学 b	2			
		金融論 a	2			
		金融論 b	2			
学 科 専 門 科 目	経済政策・応用経済	金融システム論 a	2			
		金融システム論 b	2			
		財政学 a	2			
		財政学 b	2			
		地方財政論 a	2			
		地方財政論 b	2			
		環境経済学 a	2			
		環境経済学 b	2			
		環境政策論 a	2			
		環境政策論 b	2			
		資源・エネルギー経済論 a	2			
		資源・エネルギー経済論 b	2			
		都市経済学 a	2			
		都市経済学 b	2			
		農業経済学 a	2			
		農業経済学 b	2			
		労働経済学 a	2			
		労働経済学 b	2			
		経済社会学 a	2			
		経済社会学 b	2			
	地理・地誌	産業政策論 a	2			
		産業政策論 b	2			
		産業組織論 a	2			
		産業組織論 b	2			
		行動経済学 a	2			
		行動経済学 b	2			
		地球環境論 a	2			
		地球環境論 b	2			
	国際経済	経済地理学 a	2			
		経済地理学 b	2			
		経済地誌 a	2			
		経済地誌 b	2			
		地域調査論	2			
		地理情報システム論	2			
		国際経済学 a	2			
		国際経済学 b	2			
		国際貿易論 a	2			
		国際貿易論 b	2			
		国際金融論 a	2			
		国際金融論 b	2			
		開発経済学 a	2			
		開発経済学 b	2			
		アメリカ経済論 a	2			
		アメリカ経済論 b	2			
		ヨーロッパ経済論 a	2			
		ヨーロッパ経済論 b	2			
	人口・保健・医療	ラテンアメリカ経済論 a	2			
		ラテンアメリカ経済論 b	2			
		東アジア・中国経済論 a	2			
		東アジア・中国経済論 b	2			
		東南アジア経済論 a	2			
		東南アジア経済論 b	2			
		南アジア経済論 a	2			
		南アジア経済論 b	2			
		オセアニア経済論 a	2			
		オセアニア経済論 b	2			
		アフリカ経済論 a	2			
		アフリカ経済論 b	2			
		中東経済論 a	2			
		中東経済論 b	2			
		精神保健福祉論 a	2			
		精神保健福祉論 b	2			
		現代人口論 a	2			
		現代人口論 b	2			
		社会保障論 a	2			
		社会保障論 b	2			
		医療経済学 a	2			
		医療経済学 b	2			

学 科 専 門 科 目	政治・法律	法学 a	2		
		法学 b	2		
		政治学総論 a	2		
		政治学総論 b	2		
		国際政治学 a	2		
		国際政治学 b	2		
		民法 a	2		
		民法 b	2		
		知的財産権法 a	2		
	知的財産権法 b	2			
	総合講座・ 特殊講義	総合講座 a *	2		
		総合講座 b *	2		
		特殊講義 a *	2		
特殊講義 b *		2			
教職関連科目**	社会科教育法Ⅰ	2			
	社会科教育法Ⅱ	2			
	社会・地理歴史科教育法Ⅰ	2			
	社会・地理歴史科教育法Ⅱ	2			
	社会・地理歴史科教育法Ⅲ	2			
	社会・公民科教育法Ⅰ	2			
社会・公民科教育法Ⅱ	2				
演習科目	演習Ⅰ a	2	2		
	演習Ⅰ b	2	2		
	演習Ⅱ a	2	2		
	演習Ⅱ b	2	2		
	演習Ⅲ a	2	2		
	演習Ⅲ b	2	2		
経済学科カリキュラム合計			34	16	48
全学共通授業科目 (別表Ⅳ)	全学総合科目群 (別表Ⅳ-1)	全学総合講座部門	4		14
		全学共通講義科目部門			
		全学共通実践科目部門			
		スポーツ・レクリエーション部門			
	外国語科目群 (別表Ⅳ-2)	英語部門		12 ***	
		外国語部門（英語以外）			
		日本語部門****			
卒業に必要な単位数合計			50	16	62
			128		

備考

- (1) 卒業単位数は必修50単位、選択必修16単位、選択62単位で合計して最低128単位以上修得するものとする。128単位の内訳は、学部基礎科目14単位、学科基礎科目24単位以上、学科専門科目および教職関連科目48単位以上、演習科目12単位、全学共通授業科目30単位以上である。
- (2) 学科専門科目および教職関連科目のうち、28単位までは他学科および他学部科目の単位をもって代用できる。他学部科目は12単位以内とする。
- (3) *の講義科目は年度ごとに定める。
- (4) **教職関連科目は、教職課程に登録している学生が履修することができる。
- (5) ***全学共通授業科目の外国語科目群は、English、ドイツ語、フランス語より一カ国語を履修する（ドイツ語、フランス語は既修者に限る）。
- (6) ****日本語部門は、外国人学生および帰国学生が、別に定める規程に基づき履修することができる。
- 本表は、2019年度入学者から適用する。ただし、2018年度以前に入学した者ならびに2019年度以前に第2学年に入学した者および2020年度以前に第3学年に入学した者については、なお従前の例による。

経済学科学期配当表

★必修科目 ◆選択必修 ●履修開始 ○履修可能

群	部 門	授業科目	単 位	学期配当								備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	
学部 基 礎 科 目		クラスセミナー	2	★		○		○		○		クラス指定
		経済学（ミクロ）	2	★		○		○		○		クラス指定
		経済学（マクロ）	2		★		○		○		○	クラス指定
		経営学 a	2	★		○		○		○		クラス指定
		経営学 b	2		★		○		○		○	クラス指定
		経済経営数学入門	2	★		○		○		○		クラス指定
		統計学入門	2		★		○		○		○	クラス指定
学 科 基 礎 科 目		ミクロ経済学 a	2			★		○		○		
		ミクロ経済学 b	2				★		○		○	
		マクロ経済学 a	2			★		○		○		
		マクロ経済学 b	2				★		○		○	
		経済経営数学 a	2			◆		○		○		
		経済経営数学 b	2				◆		○		○	
		統計学 a	2			◆		○		○		
		統計学 b	2				◆		○		○	
		経営学原理 a	2			◆		○		○		
		経営学原理 b	2				◆		○		○	
		会計学 a	2	◆		○		○		○		
		会計学 b	2		◆		○		○		○	
		簿記原理 a	2	◆		○		○		○		
		簿記原理 b	2		◆		○		○		○	
		コンピュータ入門 a	2	◆		○		○		○		クラス指定
		コンピュータ入門 b	2		◆		○		○		○	クラス指定
		情報社会論 a	2	◆		○		○		○		
		情報社会論 b	2		◆		○		○		○	
		環境学	2	◆		○		○		○		
		サステナビリティ学	2		◆		○		○		○	
学 科 専 門 科 目	専門外国語	専門英語 a	2					●		○		P.125参照
		専門英語 b	2						●		○	P.125参照
		専門中国語 a	2					●		○		
		専門中国語 b	2						●		○	
	理論・計量	上級ミクロ経済学 a	2					●		○		
		上級ミクロ経済学 b	2						●		○	
		上級マクロ経済学 a	2					●		○		
		上級マクロ経済学 b	2						●		○	
		ゲーム理論 a	2			●		○		○		
		ゲーム理論 b	2				●		○		○	
		経済学史 a	2					●		○		
		経済学史 b	2						●		○	
		経済統計論 a	2	●		○		○		○		
		経済統計論 b	2		●		○		○		○	
		計量経済学 a	2			●		○		○		
		計量経済学 b	2				●		○		○	
	歴 史	多変量解析 a	2					●		○		
		多変量解析 b	2						●		○	
		日本史概論	2	●		○		○		○		
		東洋史概論	2	●		○		○		○		
		西洋史概論	2	●		○		○		○		
		日本社会史 a	2	●		○		○		○		
		日本社会史 b	2		●		○		○		○	
		日本経済史 a	2			●		○		○		
		日本経済史 b	2				●		○		○	
		外国経済史 a	2			●		○		○		
		外国経済史 b	2				●		○		○	
		社会経済史 a	2	●		○		○		○		
		社会経済史 b	2		●		○		○		○	
	経済政策・応用経済	日本経済論 a	2	●		○		○		○		
		日本経済論 b	2		●		○		○		○	
		経済政策論 a	2			●		○		○		
		経済政策論 b	2				●		○		○	
		公共経済学 a	2					●		○		
		公共経済学 b	2						●		○	
		金融論 a	2			●		○		○		
		金融論 b	2				●		○		○	
		金融システム論 a	2			●		○		○		
		金融システム論 b	2				●		○		○	
		財政学 a	2			●		○		○		
		財政学 b	2				●		○		○	
		地方財政論 a	2			●		○		○		
		地方財政論 b	2				●		○		○	
		環境経済学 a	2			●		○		○		
		環境経済学 b	2				●		○		○	
		環境政策論 a	2			●		○		○		
		環境政策論 b	2				●		○		○	
		資源・エネルギー経済論 a	2			●		○		○		
		資源・エネルギー経済論 b	2				●		○		○	
		都市経済学 a	2			●		○		○		
		都市経済学 b	2				●		○		○	
		農業経済学 a	2			●		○		○		
		農業経済学 b	2				●		○		○	
		労働経済学 a	2			●		○		○		
		労働経済学 b	2				●		○		○	
		経済社会学 a	2			●		○		○		
		経済社会学 b	2				●		○		○	
		産業政策論 a	2			●		○		○		
		産業政策論 b	2				●		○		○	
		産業組織論 a	2			●		○		○		
		産業組織論 b	2				●		○		○	
		行動経済学 a	2			●		○		○		
		行動経済学 b	2				●		○		○	

群	部 門	授業科目	単 位	学期配当								備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	
学 科 専 門 科 目	地理・地誌	地球環境論 a	2			●		○		○		
		地球環境論 b	2				●		○		○	
		経済地理学 a	2			●		○		○		
		経済地理学 b	2				●		○		○	
		経済地誌 a	2	●		○		○		○		
		経済地誌 b	2		●		○		○		○	
		地域調査論	2			●		○				
		地理情報システム論	2				●		○		○	
	国際経済	国際経済学 a	2			●		○		○		
		国際経済学 b	2				●		○		○	
		国際貿易論 a	2			●		○		○		
		国際貿易論 b	2				●		○		○	
		国際金融論 a	2			●		○		○		
		国際金融論 b	2				●		○		○	
		開発経済学 a	2			●		○		○		
		開発経済学 b	2				●		○		○	
		アメリカ経済論 a	2	●		○		○		○		
		アメリカ経済論 b	2		●		○		○		○	
		ヨーロッパ経済論 a	2			●		○		○		
		ヨーロッパ経済論 b	2				●		○		○	
		ラテンアメリカ経済論 a	2			●		○		○		
		ラテンアメリカ経済論 b	2				●		○		○	
		東アジア・中国経済論 a	2	●		○		○		○		
		東アジア・中国経済論 b	2		●		○		○		○	
		東南アジア経済論 a	2			●		○		○		
		東南アジア経済論 b	2				●		○		○	
		南アジア経済論 a	2			●		○		○		
		南アジア経済論 b	2				●		○		○	
		オセアニア経済論 a	2			●		○		○		
		オセアニア経済論 b	2				●		○		○	
		アフリカ経済論 a	2			●		○		○		
		アフリカ経済論 b	2				●		○		○	
		中東経済論 a	2			●		○		○		
		中東経済論 b	2				●		○		○	
	人口・保健・医療	精神保健福祉論 a	2	●		○		○		○		
		精神保健福祉論 b	2		●		○		○		○	
		現代人口論 a	2			●		○		○		
		現代人口論 b	2				●		○		○	
		社会保障論 a	2			●		○		○		
		社会保障論 b	2				●		○		○	
		医療経済学 a	2			●		○		○		
		医療経済学 b	2				●		○		○	
	政治・法律	法学 a	2			●		○		○		
		法学 b	2				●		○		○	
		政治学総論 a	2			●		○		○		
		政治学総論 b	2				●		○		○	
		国際政治学 a	2					●		○		
		国際政治学 b	2						●		○	
		民法 a	2					●		○		
		民法 b	2						●		○	
		知的財産権法 a	2					●		○		
		知的財産権法 b	2						●		○	
	総合講座・特殊講義	総合講座 a	2			●		○		○		
		総合講座 b	2				●		○		○	
		特殊講義 a	2	●		○		○		○		P.113 参照
		特殊講義 b	2		●		○		○		○	
教職関連科目		社会科教育法Ⅰ	2			●		○		○		
		社会科教育法Ⅱ	2					●		○		
		社会・地理歴史科教育法Ⅰ	2			●		○		○		
		社会・地理歴史科教育法Ⅱ	2					●		○		
		社会・地理歴史科教育法Ⅲ	2					●		○		
		社会・公民科教育法Ⅰ	2					●		○		
		社会・公民科教育法Ⅱ	2					●		○		
		社会・公民科教育法Ⅲ	2					●		○		
演習科目		演習Ⅰ a	2			★		○		○		募集と選考は2学期
		演習Ⅰ b	2				★		○		○	
		演習Ⅱ a	2					★		○		P.114 参照
		演習Ⅱ b	2						★		○	
		演習Ⅲ a	2							★		
		演習Ⅲ b	2								★	

※履修開始および履修可能学期については、一部例外がありますので、『授業時間割表』で確認してください。

経済学科のカリキュラム

卒業に必要な単位

卒業に必要な単位数は**128**単位です。128単位の内訳は次のとおりです。

科目群		必修科目	選択必修科目	選択科目	合計
経済学科科目	学部基礎科目	14単位			14単位
	学科基礎科目	8単位	16単位		24単位
	学科専門科目			48単位	48単位
	教職関連科目*				
	演習	12単位			12単位
全学共通授業科目	全学総合講座部門	4単位		14単位	30単位
	全学共通講義科目部門				
	全学共通実践科目部門				
	スポーツ・レクリエーション部門				
	英語部門	12単位			
	外国語部門（英語以外）				
	日本語部門				
合計		50単位	16単位	62単位	128単位

各項目の選択科目を必要単位数以上修得しても卒業要件単位には算入されません。

※教職関連科目は、教職課程を登録している学生のみ履修することができます。

全学共通授業科目

卒業に必要な単位数

卒業に必要な全学共通授業科目の単位数は合計**30**単位です。

必修科目（16単位）

「全学総合講座部門」は**4**単位必修です。

外国語科目群のうち「英語部門」（既習者に限り、「ドイツ語」または「フランス語」を選択可）が**12**単位必修です。「英語」の場合、1・2学期で「English」6単位、3・4学期で「English」4単位、5・6学期で「English」2単位となり、TOEIC® LISTENING AND READING TESTのスコアに基づきクラス指定されます。外国人学生の外国語科目の履修は、「外国人学生の授業科目履修に関する特例」で別に定められています。詳細はP.234および『授業時間割表』で確認してください。

帰国学生の外国語科目の履修は、「帰国学生の授業科目履修に関する特例」で別に定められています。詳細はP.235で確認してください。

選択必修科目（14単位）

必修科目の単位とは別に、全学共通授業科目の中から**14**単位が選択科目となっています。

履修できない科目

全学共通授業科目と経済学部授業科目の両方に開設されている科目は、経済学部授業科目として履修登録してください。

1学年（1・2学期）

登録できる単位数

履修登録できる単位数は、学部基礎科目、学科基礎科目、学科専門科目、全学共通授業科目の単位を含めて、1学期、2学期ともに各**22**単位までです。教職課程科目の単位は、この中に含まれません。

履修科目

配当学期

1学期から履修できる科目は、「学期配当表」（P.120～121）および『授業時間割表』を参照してください。

- ・経済学部他学科の科目も配当学期が同じであれば履修できます。
- ・外国語学部、国際教養学部、法学部の科目は、5学期から履修できます。

学部基礎科目	全科目クラス指定される必修科目です。 「クラスセミナー」「経済学（ミクロ）」「経済学（マクロ）」「経営学a・b」「経済経営数学入門」「統計学入門」の合計7科目14単位（1学期8単位、2学期6単位）が配置されています。掲示および『授業時間割表』で自分のクラスに指定された曜日・時限・担当教員を確認し、1・2学期で単位修得するようにしてください。
クラスアドバイザー	「クラスセミナー」の各クラス担当教員が、クラスアドバイザーを兼ねています。クラスアドバイザーは、経済学部専任教員が担当し、学習上の質問や大学生活、進路等について相談することができます。
学科基礎科目	卒業に必要な学科基礎科目の単位数は必修8単位、選択必修16単位、合計24単位です。基礎科目なので、4学期までに履修することが望ましいでしょう。 選択必修科目は、履修開始学期が1・2学期の科目を計画的に履修してください（2学年配当科目は履修不可）。選択必修16単位より多く単位修得した場合、超えた分の単位は卒業に必要な単位として算入されませんので、注意してください。
「コンピュータ入門a・b」	「コンピュータ入門 a・b」は選択必修科目ですが、クラス指定されます。掲示および『授業時間割表』で自分のクラスに指定されている曜日・時限・担当教員を確認してください。3学期以降に履修する場合は、各自での登録となります。先着順になるので受講できないこともあります。なるべく1・2学期で履修するようにしてください。
学科専門科目	各学科の「学期配当表」において1・2学期に配当されている科目を履修することができます。
全学共通授業科目 外国語科目群	外国語科目群のうち「英語部門」の「English」（既習者に限り、「ドイツ語」または「フランス語」を選択可）が春学期・秋学期セットで以下の6科目6単位が必修となります。 「English（Academic Reading Strategies I a・b）」 「English（Academic Listening Strategies I a・b）」 「English（Speaking in Academic Contexts I a・b）」
「演習Ⅰ」の募集について	3学期で履修する必修科目「演習Ⅰa」の募集と選考が2学期に行われます。PorTaⅡや掲示等に注意し、全体ガイダンスに必ず出席してください。そこで配布される『演習の手引』を参照し、ゼミ別ガイダンスやゼミフェスタ（ゼミ合同相談会）に参加したり、ゼミ見学に行って自分にあったゼミを選び、十分準備して選考に臨んでください。 2～4学年の3年間で必修となっている演習の選考に合格できず、2学年で演習を履修できないと、原則として4年間で卒業することができなくなりますので、十分に注意してください。
3学期への進級	3学期への進級要件はありません。ただし、1学年のクラス指定の必修科目を単位修得できていない場合には、2学年配当の必修科目と再履修科目の時間割が重複し、いずれかしか履修できない場合も出てきますので、1学年に修得すべき単位数は、きちんと1学年のうちに修得するように心掛けてください。 なお、休学した場合は同一学期に留まります。

2学年（3・4学期）

登録できる単位数

履修登録できる単位数は、学部基礎科目、学科基礎科目、学科専門科目、全学共通授業科目の単位を含めて、3学期、4学期ともに各**24**単位までです。教職・司書・司書教諭課程科目の単位は、この中に含まれません。

履修科目

配当学期

3・4学期で履修できる科目は、「学期配当表」（P.120～121）および『授業時間割表』を参照してください。

- ・経済学部他学科の科目も配当学期が同じであれば履修できます。
- ・外国語学部、国際教養学部、法学部の科目は、5学期から履修できます。

学科基礎科目

「ミクロ経済学a・b」

「マクロ経済学a・b」

卒業に必要な単位数は、必修8単位、選択必修16単位、合計24単位です。

3・4学期に「ミクロ経済学a・b」4単位、「マクロ経済学a・b」4単位を必修科目として履修します。春学期・秋学期セット履修となります。

選択必修科目は、1学年で修得した単位を含め、合計16単位を修得してください。16単位より多く単位修得した場合、超えた分の単位は卒業に必要な単位として算入されませんので、注意してください。

学科専門科目

各学科の「学期配当表」において3・4学期に配当されている科目を履修することができます。

演習

「演習I a・b」

「演習I a・b」は3・4学期に履修する必修科目です。「演習I b」は、「演習I a」を単位修得していないと、原則として履修することはできません。

全学共通授業科目

外国語科目群

外国語科目群のうち「英語部門」の「English」（既習者に限り、「ドイツ語」または「フランス語」を選択可）が春学期・秋学期セットで以下の4科目4単位が必修となります。

「English（Academic Reading Strategies II a・b）」

「English（Academic Listening Strategies II a・b）」

科目の再履修

1・2学期で単位修得できなかった必修科目は、『授業時間割表』で確認し必ず再履修してください。2学年配当の必修科目と再履修科目の時間割が重複する場合には、再履修科目を優先してください。

進級について

進級要件はありません。8学期までは修得単位数に関係なく進級できますが、各学期で登録単位数が限られているため、原則として**4学期終了時まで**に**32単位**を修得できない場合は、4年間で卒業することができないことになります。ただし、「大学以外の教育施設等における学修」による単位認定等（P.22参照）をされた場合は、この限りではありません。

また、2～4学年の3年間で必修となっている「演習」の単位が修得できないと、原則として4年間で卒業することができなくなりますので十分に注意してください。

なお、休学した場合は同一学期に留まります。

3学年（5・6学期）

登録できる単位数

履修登録できる単位数は、学部基礎科目、学科基礎科目、学科専門科目、全学共通授業科目の単位を含めて、5学期、6学期ともに各**24**単位までです。教職・司書・司書教諭課程科目の単位は、この中に含まれません。

履修科目

配当学期

5・6学期で履修できる科目は「学期配当表」（P.120～121）を参照してください。

他学部科目の履修	5学期からは他学部の科目を履修することができます。 履修開始学期などの制限を、『授業時間割表』等で必ず確認してください。
学科専門科目	5・6学期になると、すべての学科専門科目が履修可能となります。
「専門英語a・b」 「専門中国語a・b」	全カリ英語では一般学術目的の英語（EGAP）を学んできましたが、学科専門科目の専門外国語部門「専門英語a・b」では特定学術目的の英語（ESAP）として専門分野ごとの外国語文献講読によって専門英語を学びます。 「専門英語a・b」は重複履修することができ、卒業要件として8単位まで認定されます。ただし、同一学期には2科目（4単位）まで履修登録できますが、同一教員の科目はa、bそれぞれ1科目（2単位）のみ認定されます。 「専門英語a・b」は原則として3学科各コースのテーマに沿って開講されますので、各自の選択するコースやゼミに合わせて履修できるようになっています。選択科目ではありますが、全カリ英語で身につけた英語運用能力を使って、専門分野について英語で理解を深めるための科目ですので、積極的に履修することが期待されます。 また、「専門中国語a・b」は中国経済について中国語で学ぶ科目です。全学共通授業科目の「外国語部門（英語以外）」において、中国語を履修していることが望ましいでしょう。
演習 「演習Ⅱa・b」	「演習Ⅱa・b」は5・6学期に履修する必修科目です。「演習Ⅱa」は、「演習Ⅰa・b」を単位修得していないと、原則として履修することはできません。また「演習Ⅱb」は、「演習Ⅰa・b」「演習Ⅱa」を単位修得していないと、原則として履修することはできません。
全学共通授業科目 外国語科目群	外国語科目群のうち「英語部門」の「English」（既習者に限り、「ドイツ語」または「フランス語」を選択可）が春学期・秋学期セットで以下の2科目2単位が必修となります。「English（Academic Reading and Writing StrategiesⅢa・b）」
科目の再履修	4学期までに単位修得できなかった必修科目は、『授業時間割表』で確認し必ず再履修してください。3学年配当の必修科目と再履修科目の時間割が重複する場合には、再履修科目を優先してください。
進級について	進級要件はありません。8学期までは修得単位数に関係なく進級できますが、各学期で登録単位数が限られているため、原則として<u>6学期終了時までに80単位</u>を修得できない場合は、4年間で卒業することができないことになります。ただし、「大学以外の教育施設における学修」による単位認定等（P.22参照）をされた場合は、この限りではありません。 また、2～4学年の3年間で必修となっている「演習」の単位を修得できないと、原則として4年間で卒業することができなくなりますので十分に注意してください。 なお、休学した場合は同一学期に留まります。

4学年（7・8学期）

登録できる単位数

履修登録できる単位数は、学部基礎科目、学科基礎科目、学科専門科目、全学共通授業科目の単位を含めて、7学期、8学期ともに各**24**単位までです。教職・司書・司書教諭課程科目の単位は、この中に含まれません。

履修科目

演習

「演習Ⅲa・b」

「演習Ⅲa・b」は7・8学期に履修する科目です。「演習Ⅲa」は、「演習Ⅰa・b」「演習Ⅱa・b」を単位修得していないと、原則として履修することはできません。また「演習Ⅲb」は、「演習Ⅰa・b」「演習Ⅱa・b」「演習Ⅲa」を単位修得していないと、原則として履修することはできません。

「演習Ⅲa・b」では4年間の専門教育の集大成として、全員が卒業研究を完成させることが義務付けられています。7学期の所定の期日までに「卒業研究計画書」を提出し、それに基づいて研究を進めます。

原則として、10月末までに「卒業研究中間報告書」を提出し、12月には「卒業研究報告会」を開催し、所定の期日までに卒業研究を各担当教員に提出してください。9月卒業予定者については、教務課窓口で確認してください。

卒業に関して

卒業単位は合計**128**単位です。

ただし、科目群別に必要な単位が定められているので、履修登録の際に卒業要件を満たしているかよく確認してください。なお、**経済学部には卒業要件単位が不足した場合の卒業再試験制度はありませんので、注意してください。**

免許及び資格課程再試験

卒業要件を満たした学生で、免許及び資格取得に必要な要件のうち2科目以内の単位が不足している者を対象に行います。卒業発表と同時に、免許及び資格課程合格者、再試験対象者を発表します。